



上田 よしお

市政 報告



発行者:上田よしお市政相談所 住所:茨木市玉瀬町7番9号 TEL/FAX:072-635-4978 E-mail:u_yoshio2005@yahoo.co.jp

地域の輪 (絆)で



- ✓笑顔と笑い声が絶えない心豊かな街をつくりま
- ✓憩いと安らぎのある街をつくりま
- ✓自然の美しさを誇れる街をつくりま

上田よしお プロフィール

- 学 歴 大阪工業大学短期大学卒業
- 議 員 歴 平成17年 茨木市議会議員初当選 現3期
平成25年 副議長
(監査委員・各常任委員会委員長等歴任)
- 所 属 自由民主党茨木市支部 支部長
- 職 歴 元上田設計コンサルタント(株) 代表取締役
元衆議院議員西田猛公設第一秘書
(株)富士開発コンサルタント役員 現在に至る
元摂南大学都市環境システム工学科非常勤講師
- 活 動 歴 元水尾小学校区各種団体役員歴
(PTA会長・青少年指導員・青少年健全育成会会長
各団体連絡協議会会長・自主防災会会長
元大阪工業大学校友会茨木支部 支部長
元(社)茨木青年会議所 副理事長
元茨木ローズライオンズクラブ 会長)
- 出 生 昭和21年1月28日生まれ
- 家族構成 妻 次女 義母の4大家族

上田よしお が取り組む **3**つの 最重要課題



笑顔と笑い声が絶えない
心豊かな街を作ります

教育と地域

あいさつの行き交う街をつくり、家庭・学校・地域が連携し子どもたちが安心して遊び学べる街を作ります。また子どもたちが自然の生き物や他人に思いやりのやさしい心を持つように育みます。学校教育施設の充実を図り、子どもたちのために安全で快適な学習環境づくりに取り組みます。地域の人材を生かした子どもの体力向上に取り組みます。道徳教育を通じ、生命の大切さがわかり人の心が通じ合う地域社会に取り組みます。



憩いと安らぎのある
街を作ります

福祉と健康

乳幼児の保育、子育て支援、介護高齢者福祉施設の充実を行い、少子高齢社会に対応出来る地域福祉ネットワークを構築し、心のこもったサービスの充実に努めます。地域で支え合う社会をつくり、集いの場、憩いの場を整備します。だれもが安心して暮らせるための医療・防犯・防災対策を推進し、安全で安心な街を作ります。高齢者・障がい者にやさしいバリアフリーの街を作ります。



自然の美しさを
誇れる街を作ります

環境と整備

美しい町並、美しい自然を誇れるよう緑を増やし、人にやさしい自然環境をつくり、市街地と農山間地域の人の交流が出来る自然環境を生かした街づくりに取り組みます。中心地の賑わいを取り戻すため、市民会館跡地に文化芸術会館等の計画と阪急茨木市駅・JR茨木駅周辺の再開発を実施し、「未来都市茨木」の玄関口として発展し継続できる都市環境づくりに取り組みます。

年頭挨拶



茨木市議会議員

上田 よしお

(嘉夫)

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様におかれましては、明けましておめでとうございます。本年もご挨拶申し上げます。平素は市議会議員上田よしお(嘉夫)に温かいご支援とご指導ご鞭撻を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、若者の間でポケモンGOやPAPAなど瞬時に流行ったユニークな話題がある中、政治の世界では5月の伊勢志摩サミット、6月には公職選挙法が改正され、選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられました。また7月には小池百合子氏が初の女性東京都知事に就任され、豊洲の盛り土問題や2020年の東京五輪の会場見直し問題など、政治への国民の関心もとても高いものとなりました。また、4月には熊本で、10月には鳥取で地震が発生し、30年以内には70%の確率で発生が予想される南海トラフ大地震への心配も高まりました。茨木市でも、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大地震の教訓を生かし、自主防災組織の運用を推進しています。今一度、自主防災組織の大切さと地域の結束を考えさせられた年でもありました。

一方、茨木市におきましては、4月に熱意のある若い福岡洋一市長が誕生し、新たな市政運営が始まりました。市長は、市民の意見に耳を傾け、市民との対話を尊重しながら市政運営を進めていく方針を出しています。若い考えを大いに発揮し、大胆かつ柔軟な市政運営に努めることに、私も一緒に力を注いで行きたいと考えております。中心市街地の活性化をはじめ、環境、教育、福祉を整備してこそより良い街になると考えております。住みたい街、住んで良かった街、そして住み続けたいと思う街「茨木」になるよう、施策の実現に取り組んでまいります。

市議会では、今年1月22日投票の市議会議員選挙に先立ち、昨年の12月議会にて議員定数を2名削減し30名から28名とする議案を会派から提出し可決いたしました。議員削減により、一人一人の議員が市民の皆様への責任にこたえる責務は今以上に多くなるものと考えられます。今後も茨木市政の発展に皆様方からのご意見やご要望を聞かせていただき、努力してまいります。皆様の一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして輝かしい一年となりますことを心よりお祈りいたしております。
平成29年1月



上田よしおが4年間で取り組んできた事

安全で安心できる街づくりのために

① 地域で予防介護の充実

いつまでも自分らしい生活が続けられるように、普段から地域の皆様と楽しく過ごせる居場所づくりとして「はつらつ運動教室」や「介護予防健康教室」などの環境整備を行ってきました。他市のモデルとなり高い評価を受けている「街かどデイハウス」を、小学校区ごとに設置することを目標に、地域の皆様が主体となる運営をしています。

② 子どもへの安全対策

子どもに対する事件が各地で頻発に発生している事を受け、通学路など、常時監視ができる防犯カメラを茨木市内で320箇所設置しました。しかしながら、何時どこで何が発生するかわかりません。一番の安全対策は、地域の方で子ども達を見守ることです。どうぞ引き続き、子ども達への温かい視線を向け、見守りをお願いします。

③ 中心部における地図混雑地域の確定業務の開始

昭和11年より開始された旧茨木町の耕地整理事業及びその周辺地域における地図混雑地域を解決するために平成27年度より大阪法務局による登記所備付地図作成作業がようやく開始されました。これにより個人が所有している土地の境界が整備され、土地活用がよりしやすくなることが期待できます。

④ 市民の安全を守る安威川ダムの推進

近年の異常気象から集中豪雨や台風の影響が毎年のように各地で発生しています。茨木市内を流れる安威川は、昭和42年の集中豪雨で川が氾濫し大きな被害をもたらしました。その後、ダムに対する是非々が国で議論されてきましたが、安威川は茨木市内のみならず近隣の市域に及ぼす影響が大きいことから、現在大阪府が早期完成を目指し工事を進めています。一刻も早い完成を望みます。完成予定は平成32年度とされています。

⑤ 議会改革に取り組む

議会報告会をはじめ、議員同討議、議員の質問方法を同一答方式に変えるなど、議会改革に取り組んでまいりました。市民に開かれた議会として誰でも見ることのできるインターネット放送配信も開始しました。また昨年12月には議員定数を30人から28人に減らす議案を自由民主党神奈川支部と維新会派が提案し、賛成19名、反対10名の賛成多数で可決されました。今更以上に皆様のお声を大切に市政に反映できるよう努めてまいります。



今日も街かどデイハウスで楽しむ皆さん



市内の防犯カメラ設置状況



道路境界測量写真



工事が進むダム工事現場

今後取り組まなければならぬ事

茨木市の人口は少子高齢化が進み、平成32年をピークに減少傾向になります。そして平成42年には65歳以上の高齢者が27%以上になると推計されています。このことを踏まえ、「子育てしやすい街」「高齢者に優しい街」そして「住みやすい街」を目指し、今後の街づくりをしていかなければなりません。そのため、次のことに取り組んでまいります。

1 街への取り組み

- ① 中心市街地の活性化をはかるため、阪急茨木市駅周辺、JR茨木駅周辺の再開発の計画を軸として、市民会館跡地を茨木市の中心シンボルにする「文化芸術総合施設」(仮)となるよう推進します。
- ② 南部地域発展のため、幹線道路沿いの大型ショッピングモールの計画をより良い環境に配慮した街づくりになるよう取り組みます。
- ③ 山間部を市民の憩いの場として、都市近郊の農山村が調和のとれた開発になるよう取り組みます。



現在閉鎖している市民会館

2 少子高齢化対策について

茨木市を魅力ある街にすることによって、住みたい街、ずっと住み続けたい街にする必要があります。そのためには都市間競争に勝つための施策をしなければなりません。未来を担う子ども達にとって「教育」そして「住環境」の整備は必要不可欠の問題です。幸いに茨木市の教育レベルは全国でトップレベルであり、それを維持していく事が重要であります。それに合わせて子ども達の体力を向上させるため、今後「知(教育)・徳(徳育)・体(体育)」のバランスのとれた教育を進めてまいります。また、学校と地域が連携して、これからの子育て世代が安心して茨木に住み、茨木で育ち、そしてまた茨木に帰ってきたいと思える環境を作りたいと思っています。

また、高齢者人口の急激な増加は深刻な問題で、避けることはできません。茨木市においても年々高齢者家庭が増加しております。地域と家庭が連携して、安心して住める、地域ネットワークの環境づくりを第一に、高齢者の居場所づくり、高齢者を支える地域コミュニティ活動の充実を図ります。

そして子育て世代と高齢者の支援の連携ができる地域ネットワークの充実に取り組まなければなりません。

3 医療福祉について

茨木市の医療は、近隣他市と比べて、総合病院が不足しています。特に、南東部の地域で病院が不足しているため、総合病院の誘致に取り組んでまいります。

市政報告会

本会議終了後に毎回「市政報告会」を開催しており、昨年12月には第44回目の報告会を開催させていただきました。はじめ、市民の皆様のご要望から市の担当者との意見交換や、国政、府政の情勢を踏まえたご報告をさせていただきます。会のご報告をさせていただきます。会のご報告をさせていただきます。会のご報告をさせていただきます。会のご報告をさせていただきます。



第41回市政報告会

場も設けております。最新の市議会の情報をいち早く伝え、そして最新の地域の情報を市政に伝えることが議員としての一番重要な職務と考えております。おかげさまで、毎回60名から70名ほどの皆様にお集まりいただき、有意義な報告会をさせていただいております。今後も皆様のご意見をお聞かせいただき、市政に反映させていただきます。機会を続けてまいります。

また、市政報告会とは別に、地域の自治会や団体個人の皆様のご相談を聞かせていただく機会として月2回、土曜日に「市民相談会」を行っております。どちらもお水尾コミュニティセンターで行っておりますので、どうぞお気軽にご参加ください。